

LAN アクキュライザーの活用(14)

—AIXIOM 80—

1. 始めに

前報(13)に引き続き、Goodman AXIOM 80 における LAN アクキュライザーの追加導入と Crstal EpL 導入後の効果を確認します。

2. LAN アクキュライザーLACU-1 と Crstal EpL の試聴計画

1 個目の LAN アクキュライザーの効果は [LAN アクキュライザーの導入\(10\)](#) で報告しています。その後、[LAN アクキュライザーの導入\(15\)](#) で報告しましたように 2 個目の LAN アクキュライザーをルーターとスイッチングハブの間の LAN ケーブルに追加導入しました。

さらに[仮想アース Crystal EpL の導入\(2\)](#) で報告しましたように Crystal EpL をスイッチングハブに導入し、[仮想アース Crystal EpL の導入\(3\)](#) で報告しましたようにルーターには自作の仮想アースを適用しています。

今回、これらの効果を改めて AXIOM 80 で確認することにしました、

LAN アクキュライザーの導入(10)では、当初駆動アンプは Pilotone Tungsoll 5881pp アンプを使用していましたが、全体に入上がりの音でしたので、Rogers CadetIII に変更し、Rogers CadetIII のトーンコントロールを活用することにし、ハイを押え、ロウを上げることにより、バランスを改善し、LAN アクキュライザーの装着をより効果的に発揮させることができました。このため、今回は、Rogers CadetIII を使用します。

音源は STAGE+ に限定して PC 経由で再生し、LAN アクキュライザーの導入(10)で試聴したものとします。

STAGE+

ベートーヴェン ピアノソナタ 30 番 31 番 32 番

マウリツィオ・ポリーニ (ピアノ)

バッハ クリスマスオラトリオ

エリオット・ガーディナー指揮イングリッシュバロックソロイスト

モンテヴェルディ合唱団

シューベルト ピアノ五重奏曲「鱒」

リサ・パティアシュベリ (ヴァイオリン) 他

バッハ 無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータ

シュロモ・ミンツ(ヴァイオリン)

3. LAN アクセラライザーLACU-1 と Crstal EpL の試聴結果

ベートーヴェンのピアノソナタは、Rogers CadetIIIのトーンコントロールの調整でバランスもとれ、LAN アクセラライザーの追加導入と Crystal EpL の効果で、打鍵の鋭さを維持しながら響きの余韻もしっかりしています。

バッハのクリスマスオラトリオは、Rogers CadetIIIのトーンコントロールの調整でバランスもとれ、LAN アクセラライザーの追加導入と Crystal EpL の効果で、合唱の濁りが後退し、古楽器やソリストの声の質感が向上し、ティンパニやソリストの声の間接音も明瞭になっています。

シューベルトのピアノ五重奏曲「鱒」は、Rogers CadetIIIのトーンコントロールの調整でバランスもとれ、LAN アクセラライザーの追加導入と Crystal EpL の効果で、エッジの効きすぎも緩和され、ピアノの響きやコントラバスの音階もしっかりしています。

バッハの無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータは、Rogers CadetIIIのトーンコントロールの調整でバランスもとれ、LAN アクセラライザーの追加導入と Crystal EpL の効果でこれまでのエッジの効きすぎたところも緩和され、透明度の高いスリリングな演奏が聴かれます。

4. まとめ

LAN アクセラライザーの追加導入と Crystal EpL の効果が AXIOM80 で確認されました。

以上